

平成 29 年度 日南町施政方針より、林業部分について

日南町では、平成 29 年 3 月 2 日に、この年の町政の方針を示す、「平成 29 年度 日南町施政方針」を公表しました。(日南町ホームページにて公表されています)

上記施政方針より、林業部分について抜粋をいたしました。

【林業分野について】

- 平成 28 年 11 月に、日南町・日南町森林組合・株式会社オロチ・大建工業㈱で協定書を締結した「森林カスケード計画」の深化を行う
森林カスケード利用とは…
 - 木材を建材等の資材として利用した後、ボードや紙等の利用を経て、最終段階では燃料として利用
 - 上記により、森林資源を余すことなく活用する手法
- 素材生産量の拡大、C・D 材・広葉樹の活用への取組を行う
- FSC 認証材の東京オリンピック・パラリンピックでの優先利用運動への取組を行う
- 再生可能エネルギー施設の復旧・普及と活用を行う
- 農林業を担う人材育成について、U ターン・I ターン者の研修先「エネルギーにちなん」の指導力向上に向けて、組織全般の見直しをする

上記の課題について取り組んでいくとしています。

また、平成 30 年度の政府税制調査会で結論の出される「森林環境税」が実現された場合、この税収により「全伐から植林」という循環を目指した活動をしていくとしています。

※森林環境税(国税)について

新税は温暖化対策や国土保全の安定財源として、林野庁などが創設を求めてきました

与党内では国税として集め、森林面積などに応じて市町村に配分し、間伐などの費用に充てるといった案となっています。

昨年末の平成28年度与党税制改正大綱では、地方の独自課税と同じ「森林環境税」の名称で「新たな仕組みを検討する」と明記されました。(鳥取県では「森林環境保全税」)

米子木材市場動向

平成 29 年 2 月 8 日(水)・22 日(水)に開催された米子木材市場の市況

2/8 杉(4m 末口径 26 cm~30cm) ¥11000(m³)/平均…928.661 m³ (出荷量)

2/22 杉(4m 末口径 26 cm~30cm) ¥12000(m³)/平均…516.082 m³ (出荷量)

2/8 檜(4m 末口径 16 cm~18 cm) ¥17000(m³) /平均…436.195 m³ (出荷量)

2/22 檜(4m 末口径 16 cm~18 cm) ¥13500(m³) /平均…422.084 m³ (出荷量)

